



## 《将来に向けた取組方針》

日産は、環境理念である「人とクルマと自然の共生」を目指し、お客さまに革新的な商品・サービスを提供しています。2010年には事業における生態系への依存と影響を評価し、優先すべき3つの重点領域「エネルギー」「材料資源」「水資源」を特定しました。それぞれについて事業と関連の高い分野から優先的に取り組み、生物多様性の保全に貢献してまいります。

### 〈重点領域での取り組み〉

#### エネルギー

- 再生可能エネルギーの利用促進、革新的なモノづくりなど、1.5℃シナリオを目指した取り組みを行います
- 社会で再生可能エネルギーや充電インフラが拡大するのに合わせ、クルマの電動化を推進し、バリューチェーン全体でカーボンニュートラルな未来を実現していきます

#### 材料資源

- サーキュラー・エコノミーを通じ、資源の循環利用を促進し、新たに採掘する天然資源を最小化することにより生態系への影響の削減に努めます

#### 水資源

- 水ストレスの高い地域の工場での水使用量の削減など、地域ごとの水課題に即した活動を行います

### カーボンニュートラルを実現するEV生産ハブ「EV36Zero」

欧州におけるカーボンニュートラルの実現に向け、パートナーとともに、世界初のEV生産のエコシステムを構築するハブとして「EV36Zero」を2021年7月に公開しました。



英国サンダーランド工場にて以下を実施

- 3つの新型EVの生産
- 再生可能エネルギーを利用した「マイクログリッド」から100%クリーンな電力を供給
- EV用バッテリーをエネルギーストレージとして二次利用、等

### インドの生産工場周辺の池や湖の再生



日産では、地域における水利用を重要と考え、工場周辺の池や湖の再生にも取り組んでいます。堆積した土を浚渫し、貯水容量を拡大することで、飲料水の確保や生物多様性の保全に貢献します